

6. 表彰

1. 第23回日本神経理学療法学会学術大会・最優秀賞

受賞者：田上友希

演題名：脳卒中後体幹機能評価の統合的構造解明－多尺度因子分析とRasch解析による新評価モデル－

内容：急性期脳卒中者200名に対して主要体幹機能評価4尺度を探索的因子分析およびRasch分析で同時に解析し、4因子の抽出を行い各因子の妥当性を示した。

2. 第23回日本神経理学療法学会学術大会・優秀賞

受賞者：寺澤雄太

演題名：スペクトログラム形状特徴量を用いた定常歩行からのパーキンソン病のすくみ足の識別：横断研究

内容：パーキンソン病患者を対象に、定常歩行中の加速度信号から算出したスペクトログラム形状特徴量はすくみ足の識別に有効な可能性を示した。

3. 第23回日本神経理学療法学会学術大会・奨励賞

受賞者：山崎雄一郎

演題名：小脳性運動失調歩行における方向特異的・速度依存的な体幹制御特性の定量的解析

内容：小脳脳卒中者35名と健常高齢者41名の歩行時にIMUセンサーを用いた評価を行い、体幹加速度指標、関節角度を比較した。その結果、小脳脳卒中者は約1.0～1.2m/sec以下では体幹動揺が増大し、失調症状が顕在化することが明らかとなった。

4. 第23回日本神経理学療法学会学術大会・奨励賞

受賞者：堀めぐみ

演題名：歩行時視線制御の特異的代償戦略－脳卒中患者における機能・能力と視線パターンの関連－

内容：視線パターンを明らかにするとともに、身体機能や歩行能力との関連を検証した。その結果、視線は麻痺側下肢機能およびバランス能力など身体機能面、歩行能力低下に対して特異的な代償戦略を示した。

5. JAPAN PAIN WEEK 2025・奨励賞

受賞者：西 祐樹

演題名：しびれ同調経皮的電気刺激の即時効果を規定する臨床指標：末梢・中枢神経障害を対象とした疾患横断的決定木分析

内容：しびれ同調経皮的電気神経刺激の即時効果における規定要因を探索した結果、しびれ感の表現や認知機能が重要であることが明らかとなった。